

第 21 回小山田大龍地区まちづくりを考える会まちビジョン準備会
及びまちビジョン全体会報告書

2024. 10. 16

Pm6:00~7:30

場所；大龍会館

■第 21 回準備会

参加者 会長他 12 名 市 3 名 アドバイザーの計 17 名

1.大谷会長のあいさつ

まちビジョンの確認の段階にあり今日の議論で会の最終案としたい

2. 前回の報告 (アドバイザー)

- ・東谷戸道路の報告
 - ・多摩都市モノレールの動向について
 - ・地域イベントの活性化について
- などを報告

3. 質疑と議論

- ・東谷戸道路に関連して、都市マス上でモノレール下の都市計画道路の絵が残っている。ただし復員 22 メートルで整備事業者は東京都なので、実現化は困難なのではないか
- ・地域としては生活や山林の管理等で必要な道路として早急な整備を望んでいる。町田市道として整備が出来ないものか。
- ・多摩都市モノレールのルート上道路については忠生地区の集会ではモノレール関連道路としての認識は薄いようだ。都市マス上の位置づけを知らない。
- ・活動拠点として検討している大龍会館前の田圃（生産緑地解除）について所有者は隣接地の土地利用との関係性を無視できないと考えている。一体的に活用するのであれば了承するとの事。また、当該地には暗渠の水路があり土地利用する際はその整備も必要になる。

4.まちビジョン（案）について

- ・具体的な方針が見えない（質問）
 - ➡（案）の内容を再度説明し確認した
- ・調整区域の活用は土地所有者にとって重要。かつては林業で収入を得ていたが今は収入源になっていない上に管理に費用が掛かる状況。管理上も含めて最低幅員の道路は必要。

- ・(案) については 11/6 の街づくり景観審議会に諮り、承認が得られれば市で最初のまちビジョンとなる。

5.その他報告

- ・クリーンキャンペーンについて
12/7（土）に小野路と大龍地区合同により奈良ばい谷戸で行いたい
昨年からは里山のクリーンアップ作戦として行われている
- ・白山神社の例大祭に参加したキッチンカーが昭和公園のイベントで上位に入賞した
- ・街づくり景観審議会にはアドバイザーがオブザーバーとして参加する

6次回は 11/20（水）大龍会館 Pm6：00～
街ビジョン審査会の状況について協議を行う